

日 誌 (昭和52年1月)

【国 内】

- 5日 ○政府、昭和51年度一般会計補正予算案および財政投融资の追加を閣議決定(1月号「要録」参照)
- 11日 ○政府、「昭和52年度予算編成方針」を閣議決定、同時に「昭和52年度の経済見通しと経済運営の基本的態度」を閣議了解(「要録」参照)
- 20日 ○政府、昭和52年度一般会計予算概算および財政

- 投融资計画の政府案(大蔵省原案は13日内示)を閣議決定(「要録」参照)
- 第1回割引国庫債券発行(1月号「要録」参照)
- 政府、昭和52年度地方債計画を閣議了承(「要録」参照)
- 大蔵省、証券会社の支店その他の営業所の設置等の取扱いについて通達(「要録」参照)

【海 外】

- 1日 ○ベルギー、所得政策の一部緩和を実施
- インドネシア、織物製品の輸入規制を実施
- 3日 ○IMF理事会、対英スタンダード・バイ信用供与(33.6億SDR)を決定
- 4日 ○ソ連、小売価格体系の一部改定を発表
- 5日 ~~○~~米国輸出入銀行、貸出金利を引下げ
- ベルギー中央銀行、公定歩合の引下げ等一連の金融緩和措置を決定
- 6日 ○EC、EC委員会委員の交替(新委員長 Roy Jenkins 前英国内相)
- オランダ銀行、公定歩合引下げを発表(6→5%、7日実施)
- 7日 ~~○~~英蘭銀行の最低貸出歩合低下(14.25→14%)
- 豪州、支払準備率の引上げを決定(7.0→8.0%、18日から実施)
- 10日 ○B I S中央銀行総裁会議、対英スタンダード・バイ信用供与(30億ドル)で合意
- スウェーデン、1977年度予算案を発表
- 11日 ○ベトナム、第6期第2回国会開催(15日まで)
- 12日 ○フォード米大統領、一般教書を議会に提出
- 13日 ~~○~~英蘭銀行、特別預金預入率を引下げ(6→3%)
- インドネシア、商業銀行の貯蓄性預金金利を引下げ

- 14日 ○豪州、支払準備率の引上げを決定(8.0→9.0%、25日から実施)
- 豪州、海外借入れに対する規制等を強化
- 17日 ○フォード米大統領、予算教書を議会に提出
- 第4回日豪閣僚委員会開催
- 18日 ○フォード米大統領、経済報告を議会に提出
- バングラデシュ、タカ対英ポンド中心レート
- の切下げを実施(4.7%<IMF方式>)
- 20日 ○カーター氏、米国第39代大統領に就任
- ~~○~~イタリア、債券強制保有率を引下げ
- 21日 ~~○~~英蘭銀行の最低貸出歩合低下(14→13.25%)
- 24日 ~~○~~英国、中期ユーロ借入れ(15億ドル)計画を公表
- 26日 ○西ドイツ、年次経済報告、中期財政計画を発表
- ~~○~~イタリア経営者団体連盟、労働コスト抑制に関する協定を労組と合意
- スリランカ、公定歩合の引上げを実施(6.5→8.5%)。
- 27日 ~~○~~英蘭銀行、特別預金預入率の一時的引下げを発表(3→2%、1月31日から3月9日まで)
- 31日 ○カーター米大統領、景気刺激対策を議会に提出
- カナダ、公定歩合引下げ(8.5→8.0%、2月1日実施)ならびに第2線準備率引下げを発表